

令和2年度 事業計画書		施設名：下和泉地区センター
運営方針		<p>☆下和泉地区センターを地域コミュニティの醸成の場と捉え・連帯感あふれる地域を目指し、泉区の魅力ある地域社会づくりに当地区センターが不可欠な存在となるように施設を運営していきます。</p> <p>☆当館の指定管理者は、連合町内会の代表が当たっているため、地域住民の声を反映して主体的に管理運営にあたっていきます。また、公の施設管理として利用者への公平さ、運営の公平さ、安全管理の法令遵守に徹底します。</p> <p>☆地域住民の自主的な活動や相互交流を通じて豊かな地域社会を形成していく拠点として、地域の課題やニーズに対応しつつ地域に密着した運営を行っていきます。</p>
運営計画	運営体制	☆地域住民が気軽に立ち寄り相互交流が出来るよう施設の活用や利用方法を工夫していきます。 また、連合のバックアップを頂きながらさらに活動を発展させていきます。
	利用者実績・稼働率	☆利用者ニーズに応じた内容の自主事業の実施を図り、利用者増につなげるようにします。また、図書利用の目的で来館する人たちのために、図書の紹介や新着本の充実を図ります。今まで利用したことのない人もホームページなどを使って新規利用者を増やすようにします。
	緊急時・防犯・防災対策等	☆危機管理意識の徹底を図り緊急時の対応・連絡網、避難訓練・消防訓練など日頃から職員間の周知を徹底してきます。
サービス向上	利用方法	☆利用者会議やイベントの後の反省会、アンケート等により利用者のニーズを把握し、利用者とのコミュニケーションの場を持つ機会を計画していきます。また、それらの結果を十分に把握し、次回の実施に生かす仕組みを作ります。
	広聴、ニーズ把握	☆地域内の自治会・町内会長全員を対象に意見交換会を開催し、地域の要望収集に努めていきます。 ☆利用者に公正かつ公平に利用いただけるよう分かりやすい利用案内、ホームページ、広報などに心掛け、「あなたの声」を設置するなど利用者ニーズを反映し易い環境を作っていくようにしていきます。
	事故対応・対策（保険）等	☆事故を未然に防ぐために施設内点検を日々励行し、変化を見逃さないように報告できる体制づくりに努めます。 事故の場合には行政への報告、施設・事故賠償保険に加入しています。
地域・住民との連携	地区センター委員会	☆地元の自治会・町内会、小・中学校、地域のボランティア団体で構成している委員から地区センターの運営に対し意見具申の機会を設けるようにします。 ☆地域住民・利用者の代表で構成する地区センター委員会や利用者から構成される利用者会議を定期的に開催し、会議で出された意見を施設運営に反映させネットワークの強化を図っていきます。
	利用者会議	☆毎月開催の事前申し込みを利用者の声を直接聴ける機会と捉え、利用者が要望を言える場を設けます。利用者の要望に対しては迅速に対応できるようにします。年に最低1回は利用者会議を開催し意見交換の機会を設けます。
		☆事業の実施に当たっては、チラシの回覧から準備など全面的に連合や町内会の協力を得て取り組んでいきます。
収支計画	利用料金収入実績	☆自主事業修了後の自主活動グループの立ち上げの協力、地域住民の輪を形成できるよう支援し、施設利用の活発化を図り施設利用料の目標額を達成します。その結果、利用者へのサービスとしての還元を増やせるようにします。☆稼働率の低い時間帯・部屋の仕様を拡大し利用し易い、施設の稼働率の向上を図ります。
	指定管理料の執行	☆指定管理料の執行は、計画的・効率的な執行を図り、無駄な支出を失くすようにします。
	経費節減等の取組	☆省エネルギーへの取組みを通じて光熱水費の削減を図ります。併設のケアプラザと協議を行い省エネルギーへの取組みを図りたい。
施設の維持管理	管理・点検、修繕	☆定期的な建築設備の保守・点検のほか、日常的な施設の見回りにより不具合箇所の早期発見に努め、計画的な施設の長寿命化を図るとともに、施設修繕費の削減に努めます。 ☆小破修繕では対応出来ない不具合については行政との情報の共有化を図り、早期の対応を働きかけていきます。
	備品等の管理	☆備品の管理簿を付け、行政財産と指定管理者のものを区別し分類別に仕分けして置きます。
	環境への取組	☆市のルート回収、分別ルールに沿って資源ごみ、リサイクル、エコ活動に取り組み、環境衛生にも心掛けていきます。
個人情報保護	特記事項の取組状況	☆職員・スタッフに対して個人情報保護に関する教育を継続して実施していきます。 ☆施設運営に当たって利用者から集める個人情報は必要最低限にとどめます。 ☆保管場所・方法、暗証番号の設定、管理責任者等について定めた個人情報管理規定を設けて厳密な管理を行います。
	情報公開	☆情報の開示申し出があった時は開示申請者に当該開示申し出に関する文書を開示するようにします。
その他		☆みなみコミュニティハウスとの連携をし、相互の特徴を活かした自主事業やイベントの企画・実施に努め、効率のよい管理運営を行っていきます。

令和2年度 下和泉地区センター 収支予算書兼決算書
(令和02. 04. 01～03. 03. 31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
	指定管理料	38,356,000		38,356,000		38,356,000	横浜市より
	利用料金収入	2,460,000		2,460,000		2,460,000	6か月間体育室特定天井工事予定
	自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	565,000		565,000		565,000	自主事業のうち、本市が仕様等で定め、自主事業にかかる財源を指定管理料から充当しているもの
	自主事業収入			0		0	自主事業のうち、指定管理者が自発的に実施し、自主事業にかかる財源を指定管理料から充当していないもの(指定管理料を充当せず、参加費等を徴収して財源としているもの)
	雑入	906,000	0	906,000	0	906,000	
	印刷代	150,000		150,000		150,000	
	自動販売機手数料	160,000		160,000		160,000	
	駐車場利用料金収入			0		0	
	その他（広告ラック収入・預金利息）	596,000		596,000		596,000	
収入合計		42,287,000	0	42,287,000	0	42,287,000	

支出の部

科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		20,906,000	0	20,906,000	0	20,906,000	
	給与・賃金	18,545,000		18,545,000		18,545,000	館長・副館長及び時給職員15名
	社会保険料	1,617,000		1,617,000		1,617,000	
	通勤手当	618,000		618,000		618,000	常勤職員・時給職員
	健康診断費	126,000		126,000		126,000	常勤職員・時給職員
	勤労者福祉共済掛金			0		0	
	退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費		2,337,000	0	2,337,000	0	2,337,000	
	旅費	60,000		60,000		60,000	出張旅費
	消耗品費	606,000		606,000		606,000	事務消耗品費
	会議賄い費	155,000		155,000		155,000	
	印刷製本費	55,000		55,000		55,000	
	通信費	170,000		170,000		170,000	電話代・郵送料等
	使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
	横浜市への支払分			0		0	目的外使用料等
	その他			0		0	リース経費等
	備品購入費	140,000		140,000		140,000	
	図書購入費	300,000		300,000		300,000	
	施設賠償責任保険	19,000		19,000		19,000	
	職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
	振込手数料	5,000		5,000		5,000	
	リース料	340,000		340,000		340,000	
	手数料	40,000		40,000		40,000	
	その他（地域協力費）	347,000		347,000		347,000	地域イベントの協力費等
事業費		1,466,000	0	1,466,000	0	1,466,000	
	自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,466,000		1,466,000		1,466,000	自主事業のうち、本市が仕様等で定め、自主事業にかかる財源を指定管理料から充当しているもの
	自主事業費			0		0	自主事業のうち、指定管理者が自発的に実施し、自主事業にかかる財源を指定管理料から充当していないもの(指定管理料を充当せず、参加費等を徴収して財源としているもの)
管理費		14,251,000	0	14,251,000	0	14,251,000	
	光熱水費	8,834,000	0	8,834,000	0	8,834,000	
	電気料金	4,034,000		4,034,000		4,034,000	
	ガス料金	3,000,000		3,000,000		3,000,000	
	水道料金	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
	清掃費	750,000		750,000		750,000	日常・定期清掃費
	修繕費	1,493,000		1,493,000		1,493,000	
	機械警備費	310,000		310,000		310,000	
	設備保全費	2,864,000	0	2,864,000	0	2,864,000	
	空調衛生設備保守	1,041,000		1,041,000		1,041,000	
	消防設備保守	150,000		150,000		150,000	
	電気設備保守	396,000		396,000		396,000	
	害虫駆除清掃保守	300,000		300,000		300,000	
	駐車場設備保全費			0		0	
	その他保全費	977,000		977,000		977,000	ピアノ、音響、コピー機保守費
	共益費			0		0	
公租公課		1,997,000	0	1,997,000	0	1,997,000	
	事業所税			0		0	
	消費税	1,997,000		1,997,000		1,997,000	
	印紙税			0		0	
	その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）		510,000	0	510,000	0	510,000	
	本部分	510,000		510,000		510,000	労務・経理等の本部事務経費
	当該施設分			0		0	
二一ス対応費		820,000		820,000		820,000	
支出合計		42,287,000	0	42,287,000	0	42,287,000	
差引		0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

令和2年度 自主事業事業計画書

施設名：下和泉地区センター

自主事業予算額							
事業名	①募集対象	総経費	収入		支出		
	②募集人数		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
	③一人当たり参加費						
1.七夕まつり（年間行事を楽しむ）	幼児～	50,000	50,000	0	0	30,000	20,000
	200						
	無料						
2.ワンパクフェスティバル（遊びとカレーライス）	小学生以下	ニーズ対応費	0	0	0	0	0
	300						
	無料						
3.地区センター歌のつどい（サークル編・家族編）	一般男女	50,000	10,000	40,000	0	20,000	30,000
	80						
	500円						
4.卓球大会（中学生と一般）	中学生以上	20,000	5,000	15,000	0	20,000	0
	60						
	500円						
5.クリスマス会（観劇とプレゼント）	小学生以下	50,000	50,000	0	50,000	0	0
	200						
	無料						
6.青空まんぷく子ども食堂	どなたでも 30人×12回 子ども100円	300,000	267,000	33,000	0	300,000	0
7.お相撲さんと餅つき大会（あんころ餅を食べよう）	どなたでも 300人	ニーズ対応費	0	0	0	0	0
	無料						
8.歌声広場	一般男女	20,000	20,000	0	0	20,000	0
	40人×6						
	無料						
9.スプリング・フェスティバル・ヤングフェスタ	一般男女	200,000	200,000	0	0	200,000	0
	—						
	無料						
10.吊るし雛を作って飾ろう	一般男女	30,000	10,000	20,000	10,000	20,000	0
	10人						
	2000円						
11.健康体操（年間12回×2）	一般男女	360,000	140,000	220,000	300,000	60,000	0
	30×20						
	350						
12.トレーニングマシンを使ってリハビリ	一般男女	30,000	17,000	13,000	30,000	0	0
	10人×3						
	500						
13.マイスターの心と職を学ぶ	一般男女	15,000	5,000	10,000	0	15,000	0
	25人×3						
	200						
合 計 (1)		1,125,000	774,000	351,000	390,000	685,000	50,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
14. 地域力を活かす	一般男女	20,000	20,000	0	10,000	10,000	0
	20×5回						
	無料						
15. 手作り味噌教室	一般男女	50,000	10,000	40,000	10,000	40,000	0
	20人						
	2000円						
16. ボイストレーニングで若 返り	一般男女	20,000	7,000	13,000	0	20,000	0
	10人×6						
	200円						
17. 語学、ハンドメイドなど	一般男女	70,000	20,000	50,000	46,000	24,000	0
	10人×5						
	1000円						
18. 健康リフレッシュ麻雀	一般男女	40,000	4,000	36,000	0	36,000	4,000 0
	36人						
	1000円						
19. 新春囲碁大会	一般男女	10,000	3,000	7,000	0	10,000	0
	40名						
	200円						
20. 親子（幼児）対象講座 （語学、体操、クッキング、 癒し）	親子	40,000	22,000	18,000	16,000	24,000	0
	15人×3回						
	500円						
21.子どもの居場所	小学生～	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	—						
	無料						
22. ゆめが丘の苺で作るクリ スマスケーキ	小学生～	20,000	10,000	10,000	5,000	15,000	0
	20名						
	500円						
23. 子供向け夏休み工作	幼児～	11,000	1,000	10,000	0	11,000	0
	20人×5						
	100円						
24. 夏休み企画読書チャレン ジ	幼児～	4,000	4,000	0	0	0	4,000
	—						
	無料						
25. ボランティア先生の教室	小学生	46,000	16,000	30,000	0	40,000	6,000
	40人×10回						
	100円						
合 計 (2)		341,000	127,000	214,000	87,000	240,000	14,000
合 計 (1)+(2)		341,000	127,000	214,000	87,000	240,000	14,000

令和2年度 自主事業別計画書(単表)

施設名: 下和泉地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
1. 七夕まつり	子供たちの願いを書いた短冊を大竹に飾り付け、エントランスに展示します。プロによるパフォーマンスを直に観覧し、日頃体験できないことを行います。帰りには、青少年指導員が早朝から刈り取ってくれた200本以上の笹と、飾りのセットをプレゼントし、家庭でも年中行事を楽しんでもらいます。竹や笹は地域の方のご厚意で寄付していただいているもので、参加者も毎年楽しみにしています。	6月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
2. ワンパクフェスティバル	地域の連合町内会・自治会の協力による、地域あげての子供を対象としたお祭り。青少年指導員、スポーツ推進委員、主任児童委員と一緒にスポーツやゲーム大会で汗を流し、お昼には女性部手作りのカレーライスを皆で食べます。帰りには、経営委員会の方が作ったポップコーンのお土産をもらいます。企画会議から実施まで、各有志や任意団体の方々の尽力による地域力のフェスティバルです。	7月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
3. 地区センター歌のつどい	カラオケを利用されるサークルの代表が実行委員会組織を作り、開催から運営まで執り行っています。町内別の老人会や歌の好きな仲間、講師など参加者は個性豊かな方々です。地域の人たちが出演されるので、応援に観に来る人も多く、大変温かな雰囲気にもまれる歌の集いです。	10月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
4. 卓球大会	利用者同士の交流を図る目的で始めた大会です。日頃から一人だけで卓球に来てても気軽に声を掛けて、相手をしてくれる人がいたり、子供が危ないことをしているのを見かけたら、声を掛けるなど地域の人たちならではの大きな輪に発展しています。年に1回親睦を兼ねて中学生から大人まで参加して男女混合の交流戦です。(中学校協力)	11月 1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
5. クリスマス会	地域の子供達と一緒に迎えるクリスマス会。人形劇やジャグリングパフォーマンスなどで楽しんだ後にサンタさんからお楽しみプレゼント。地域の町内会長の皆さんがサンタクロースに扮します。	12月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
6. 青空まんぷく子ども食堂	子どもや高齢者の孤食をなくし、大勢の人と食卓を囲む楽しさを伝え、バラエティに富んだ食材を使った食の大切さを理解してもらう目的。ボランティア講師とボランティア料理人の協力で行う食堂。	毎月 1回

令和2年度 自主事業別計画書(単表)

施設名: 下和泉地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
7. お相撲さんと餅つき大会	もち米の寄付をいただき、地域の連合町内会の青少年指導員やスポーツ推進委員、女性部、地域の有志ボランティアの協力で餅つき大会。お相撲さんと一緒に幼児から高齢者、地域の福祉施設利用者等みんなと一緒に楽しみ、あんころ餅を食べます。	2月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
8. 歌声広場	ボランティアグループによる三味線、ピアノ伴奏で懐かしい童謡や歌謡曲を皆で歌ったり、ソプラノ独唱を直に聴いたりします。ゆったりした時間を楽しむひと時です。	年間6回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
9. スプリング・フェスティバル (地区センターまつり) ケアプラ共催	幼児からお年寄りまでどなたでも楽しめるセンターの祭りです。地区センターを利用するサークルの演技発表・作品展示会と近隣の幼稚園児や小・中学校生が参加しダンスや吹奏楽を発表し、地域の人たちと交流を図ります。エントランスには、その年の自主事業「つるし雛飾り」に参加した方々の手による多くの吊るし雛が飾られ、毎年大勢の人の目を引いています。喫茶コーナーのカレーライス、手作りケーキはボランティアの方々が、準備から販売まで一手に引き受けくださり、大盛況です。	2月 1回 (2日間)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
10. 吊るし雛を作って飾ろう	2年間をかけて吊るし雛を作ります。出来上がった作品はスプリングフェスティバルに展示をしてもらい、地域の皆さまに観て楽しんでいただきます。また、毎年高齢者施設に入居の方々も施設の送迎車に乗って観に来られ、にこやかに楽しそうに観ておられます。	年間12回×2
事業名	目的・内容	実施時期・回数
11. 健康体操	エアロビックのインストラクターによる中高年の健康増進を目的に、軽いエアロビックを通して筋力を衰えさせない楽しい健康体操です。また、仲間づくりをしていただくもの。	年間12回×2
事業名	目的・内容	実施時期・回数
12. トレーニングマシンを使ってリハビリ	膝や腰痛を筋トレマシーンを使って改善する講座。専門の医療機関の方を講師にお願いし、自分で楽にできる方法を学びます。	年間 3回

令和2年度 自主事業別計画書(単表)

施設名: 下和泉地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
13. マイスターによる職の技を教えてもらう	横浜市のマイスター、県のマイスターにより子どもや一般の方々に本物のモノづくりのを楽しんでもらい、技を極めた人を理解する機会。	年3回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
14. 地域力を活かす	地域でさまざまな活動（仕事・趣味・ボランティア）をしている方々による活動の紹介や発表をしていただき、活動の仲間を増やしたり、地域の輪を広げるようにします。	通年
事業名	目的・内容	実施時期・回数
15. 手づくり味噌教室	化学調味料を使わないなど健康指向の味噌を作ります。（開館以来継続事業）	1月 1回 (2日間)
事業名	目的・内容	実施時期・回数
16. ボイストレーニング	高齢になると声がかすれて、歌や話の声が出しにくくなってきます。そのため発声の方法を学び、短歌や古典を教材に音読、カラオケをしながら楽しく学びます。	通年20回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
17. 趣味（語学教室、ハンドメイドなど）	英会話、手づくりなど趣味の楽しさを習得しながら仲間の輪を作る教室	通年20回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
18. 健康・麻雀教室	外出の機会を作り、脳トレをしながら仲間と会話をし、楽しい雰囲気の中で人を元気にする。	通年20回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
19. 新春囲碁大会	日頃センターを利用している囲碁クラブと一般の方々が楽しく交流する。	年1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
20. 親子で体操、料理教室	若いママたちに仲間を作る機会になるように、親子で参加できる教室。運動・料理を通してママ友のグループ活動を楽しんでもらう教室。（ベビーシッター付き）	年3回

令和2年度 自主事業別計画書(単表)

施設名: 下和泉地区センター

事業名	目的・内容	実施時期・回数
21. 子どもの居場所	放課後の子供たちのために、学習室を解放し、何をしても良いフリースペースとしますが、ボランティア先生にいていただき、子どもの様子を見たり、音読を教えることもします。	年間 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
22. ゆめが丘農園のいちごで作るクリスマスケーキ教室	子ども主体のクッキング教室。ケーキ作りは難しいが、先生の説明を一生懸命聞いて作るため、ホールケーキが完成した時の満たされた気持ちは大きい。親にはあまり手を出し過ぎないようにお願いします。地場産のいちごを使用し、地元農家も協力してくれます。	12月 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
23. 小学生向け夏休み工作	企業の研究所の協力をいただいて子どもたちに科学やモノづくりの楽しさを伝え、知ってもらおうきっかけを作ります。	夏休3講座
事業名	目的・内容	実施時期・回数
24. 夏休み企画読書チャレンジ	日ごろなかなか読書に親しむ時間を持ってない子どもたちに、本の魅力を知ってもらう機会にします。1冊借りればポイントを付けて、貯めたらくじ引きで景品をもらえます。	7月～9月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
25. ボランティア先生の教室	地元の方で技術や資格を持った方を先生に、小学生を対象にした卓球、書道、音読、そろばん、ピアノ教室を開催。	通年20回×4

令和2年度下和泉地区センター自己評価表

目標設定の 視 点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価
利 用 者サービス	1 利用者に公正かつ公平に利用いただけるよう分かりやすい利用案内、ホームページ、広報などに心掛け、「あなたの声」を設置するなど利用者ニーズを反映し易い環境を作っていくようにしていきます。			
	2 利用者ニーズに応じた内容の自主事業の実施を図り、利用者増につながるようにします。また、図書利用の目的で来館する人たちのために、図書の紹介や新着本の充実を図ります。			
	3 利用者会議やイベントの後の反省会、アンケート等により利用者のニーズを把握し、利用者とのコミュニケーションの場を持つ機会を計画していきます。また、それらの結果を十分に把握し、次回の実施に生かす仕組みを作ります。			
業務運営	1 地域住民が気軽に立ち寄り相互交流が出来るよう施設の活用や利用方法を工夫していきます。			
	2 事故を未然に防ぐために施設内点検を日々励行し、変化を見逃さないように報告できる体制づくりに努めます。 事故の場合には行政への報告、施設・事故賠償保険に加入しています。			
	3 危機管理意識の徹底を図り緊急時の対応・連絡網、避難訓練・消防訓練など日頃から職員間の周知を徹底してきます。			
	4 地元の自治会・町内会、小・中学校、地域のボランティア団体で構成している委員から地区センターの運営に対し意見具申の機会を設けるようにしています。			
	5 地域住民・利用者の代表で構成する地区センター委員会や利用者から構成される利用者会議を定期的に開催し、会議で出された意見を施設運営に反映させていきます。			
	6 事業の実施に当たっては、チラシの回覧から準備など全面的に連合や町内会の協力を得て取り組んでいきます。			

	7 定期的な建築設備の保守・点検のほか、日常的な施設の見回りにより不具合箇所の早期発見に努め、計画的な施設の長寿命化を図るとともに、施設修繕費の削減に努めます。			
	8 小破修繕では対応出来ない不具合については行政との情報の共有化を図り、早期の対応を働きかけていきます。			
	9 備品の管理簿を付け、行政財産と指定管理者のものを区別し分類別に仕分けして置きます。			
業務運営	10 市のごみ分別ルールに沿って資源ごみ、リサイクル、エコ活動に取り組み、環境衛生にも心掛けていきます。			
	11 地域内の自治会・町内会長全員を対象に意見交換会を開催し、地域の要望収集に努めていきます。			
	12 稼働率の低い時間帯・部屋の仕様を拡大し利用し易い、施設の稼働率の向上を図ります。			
職員育成	1 職員・スタッフに対して個人情報保護に関する教育を継続して実施していきます。			
	2 情報の開示申し出があった時は開示申請者に当該開示申し出に関する文書を開示するようにします。			
	3施設運営に当たって利用者から集める個人情報は必要最低限にとどめます。			
	4 保管場所・方法、暗証番号の設定、管理責任者等について定めた個人情報管理規定を設けて厳密な管理を行います。			
財 務	1 自主事業修了後の自主活動グループの立ち上げの協力、地域住民の輪を形成できるよう支援し、施設利用の活発化を図り施設利用料の目標額を達成します。その結果、利用者へのサービスとしての還元を増やせるようにします。			
	2 指定管理料の執行は、計画的な執行を図り、無駄な支出を失くすようにします。特に光熱水費の無駄遣いをなくすようにケアブラにも呼びかけるようにします。			
	3 省エネルギーへの取組みを通じて光熱水費の削減を図ります。			
そ の 他 （上記４つの視点以外の項目があれば追記）	1 みなみコミュニティハウスとの連携をし、相互の特徴を活かした自主事業やイベントの企画・実施に努め、効率のよい管理運営を行っていきます。 2 地域の活性化のために行政、学校、自治会町内会、地域の団体の協力を得て連携を図り福祉向上に努めていきます。			
利用者等の 意 見				